

公益社団法人 日本動物学会 平成 27 年度 第 3 回理事会

1.開催された日時 平成 28 年 3 月 18 日（金）10：00-10：35

2.開催された場所 公益社団法人 日本動物学会事務局

113-0033 東京都文京区本郷 7-2-2 本郷MTビル 4 階

3 理事総数及び定足数

総数 18 名 定足数 9 名

4 出席理事数 11 名

(出席) 山下正兼、高畑雅一、田村宏治、出口竜作、武田洋幸、竹井祥郎、蟻川謙太郎、浅見崇比呂、沼田英治、倉谷 滋、富岡憲治、尾崎浩一、小泉修

(欠席者) 稲葉一男、井口泰泉、佐藤矩行、窪川かおる、稲葉一男、筒井和義

(監事出席) 長濱嘉孝

(監事欠席) 阿形清和

(1) 報告事項

会長報告（武田）

1.国際動物学会議、沖縄大会に開催に向けての予算案の調整、招聘者についての業務等について WEB 会議を開催した。

2.関西・大阪 21 世紀財団の申請を行い、採択を受けた。

3.日本学術会議へ国際会議に係わる書類を現況に合わせて修正の上、提出を行った。

4.内閣府立ち入り検査への対応を行った。本会は、規模が小さいながら、良い活動を行われていると評価されたが、以下の点について、改善を要請された。

○押印簿の扱い

○月ごとの収支決算書を会計幹事が確認を行うこと

○3 箇月置きに理事会を開催し、理事は担当業務についての報告を行うこと

○アルバイトやパート勤務者の労働規程の作成

5. 新刊 OA 刊行支援で認められた繰り越しに関して実績報告書を提出した。

6. ZDW 中間報告書を提出した結果、残り 2 年も減額なく、支援を受けられることが決まった。

7.新刊 OA 刊行支援に応募を行っていたが、ヒアリングに呼ばれたため、阿形前会長、倉谷編集長と JSPS でプレゼンをおこなった

庶務報告（蟻川）

1 内閣府から指摘のあった押印簿について、今後の扱い、承認などについて事務局と相談した。

2 国際会議参加への海外からの要望への対応

3.科研費申請書内容についての検討、修正と確認

会計報告（出口）

1. 科研費申請書の特に積算根拠に係わる記述と検算、カード転記についての確認
2. 内閣府指示により、毎月の収支決算書の確認と事務局長からの月次報告について確認
3. ZDW 中間報告書に係わる収支計算、併せて OA 刊行繰り越し分 150 万円を合算した実績報告書について確認を行った

北海道支部報告（山下）

1. 日本動物学会北海道支部第 562 回支部講演会の開催（9 月 26 日）：木矢剛智博士（金沢大学・理工研究域・自然システム学系・生物学コース准教授） 演題：昆虫の生得的行動の神経基盤：活動依存的な神経回路可視化法の開発によるアプローチ。出席者 25 名。
2. 日本動物学会北海道支部第 563 回支部講演会（12 月 21 日）鈴木賢一 博士（広島大学大学院・理学研究科・ゲノム編集研究拠点 特任准教授） 演題：ゲノム編集技術を用いた両生類のポストゲノム研究。出席者 15 名。
3. 日本動物学会北海道支部他後援 第 19 回科学探検ひろば 2016 の開催（1 月 9 日）（於）旭川市科学館サイバル（主催：サイエンスボランティア旭川・旭川教育委員会）
4. 2018 年度日本動物学会札幌大会に関する検討会の実施。11 月 26 日と 1 月 8 日に 5 名の委員で会合を持ち、札幌大会の概要を検討した。また、2 月 4 日に大会開催の候補会場の担当者と交渉し、その結果を踏まえて作成された予算案とプログラム案についてメール会議で議論し、平成 28 年度支部役員会（8 月 27 日開催予定@旭川）で諮る案を確定した。
5. 日本動物学会北海道支部第 564 回支部講演会の開催（3 月 22 日）：矢崎-杉山 陽子博士（OIST 沖縄科学技術大学院大学） 演題：Early auditory experience shapes neuronal circuits to form auditory memories in zebra finch song learning.

東北支部報告（田村）

1. 9 月 田村（支部長）、出口（理事）、小金澤（庶務）の間で、8 月に行われた東北支部大会について準備委員長の鈴木徹氏（東北大学）からの報告を元に議論・総括し、来年度の支部大会の開催と今後の活動予定について議論した。

関東支部報告（蟻川庶務が窪川理事に替わって報告）

1. 2016 年第 87 回大会開催が 11 月であるため、9 月以前開催の総会を関東支部主催公開講演会開催日に実施することを本部から打診された。支部委員会で承認されたので、8 月 6 日に総会と公開講演会を実施することになった。
2. 3 月 12 日（土）神奈川県横浜キャンパスで関東支部大会を開催した。公開シンポジウム「昆虫学—今と昔—」、一般ポスター発表 66 件、中・高校生発表 21 件であった。

中部支部報告（浅見理事が井口理事に替わって報告）

1. 平成 27 年度日本動物学会中部支部大会を、平成 27 年 11 月 28、29 日（土、日）に、1 日目の研究発表、高校生発表 を三重大学総合研究棟Ⅱ メディアホール（津市栗真町屋町 1577）にて、2 日目の公開講演会 を三重県総合博物館 研修室（津市一身田上津部田 3060）にて開催した。

参加者数： 1 日目 93 名、 2 日目 51 名

発表数： 口頭発表 11件、ポスター発表 15件

高校生の発表 口頭発表 4件、ポスター発表 2件

近畿支部報告（倉谷）

12月5日（土）午後甲南大学において公開講演会を開催した（演者：西村いくこ、久原篤）同日午前開催した支部委員会において2014年度会計報告および2015年度会計中間報告を行い、今後の活動について議論した。

中国四国支部報告（富岡）

1. 平成27年12月12日（土）に高知大学理学部にて、第108回土佐生物学会（高知県例会）を開催した。演題数は4件、参加者は約50名。

2. 12月19日（土）午後、愛媛大学理学部にて愛媛県例会を開催した。演題数は5件、参加者は35名。

3. 3月2日（水）午後、広島大学大学院理学研究科にて広島県例会を開催した。演題数は22件、参加者は約40名。

九州支部報告（小泉）

1. 11月 三学会（動物・植物・生態）九州支部合同例会が九州大学伊都キャンパスで開催、各種イベントに参加

2. 3月 九州支部会常任委員会を山脇（庶務）、松尾（会計）、中川（広報）と行き、年度の活動報告と今後の活動予定について議論予定

男女共同参画委員会（沼田副会長が窪川理事に替わって報告）

1. 男女共同参画学協会連絡会運営委員会に出席した。同連絡会の次回大規模アンケート準備ワーキングに参加した。

2. 第13回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム（10月17日（土）、千葉大学）に参加し、委員会の活動をポスター発表した。

3. 第15回男女共同参画懇談会：ランチョン企画「多様なワークライフバランスの実現から研究時間の獲得へ」にて実施した。

4. 動物学会女性研究者奨励OM賞の周知を理事および関係組織にお願いした。

一号議案 各委員会委員交代について

図書委員会（浅見）

1. シュプリンガー・ジャパンから刊行予定のシリーズ「Animal Diversity and Generality」のカバーデザインを検討している。

2. 丸善から出版予定の「動物学の百科事典」の、章立てと章ごとの中項目の選定を完了しつつある。

将来計画委員会（沼田）

キャリアパスに対する今後の対応について継続審議中。

広報委員会（高畑）

1. 2015年11月4日、交替した委員2名を含む新委員会を発足。新年度の活動方針を確認の

上、メールによる意見交換。

2.月のはじめに、ニュースレターをダイレクトメール送信でお知らせした。9月から3月分まで

3.国際動物学会議 WEB サイトに関して

担当（植木委員）を決め、FaceBookなどを開設し、また各担当理事の要望をサイトを管理する業者に知らせ、サイトの改修を行った。

4. 学会賞等、財団申請、若手国際会議出席に関する申請書受付口を学会HPに作成

5.選挙公示を学会 WEB サイトにアップした

渉外委員会（筒井）

1.関西・大阪 21 世紀財団申請書を作成。財団支援は採択された。

国際交流委員会（蟻川理事が稲葉理事に替わって報告しました）

1.基調講演者、シンポジウム等の招聘者や枠等について、会長、副課長と会 WEB 会議を開催した。

2.シンポジウムオーガナイザーに INVITATION LETTER を用意し、送信を依頼。その内容を事務局へ送信するよう依頼をした。

賞等選考委員会（竹井）

1.財団等推薦者選考委員会で、井上学位賞への推薦者を決定した（9/2015）

2.平成 28 年度学会賞等選考委員会委員を投票により決定した（9/2015）

3.財団等推薦者選考委員会で、内藤記念科学振興賞への推薦者を決定した（9/2015）

4.平成 27 年度学会賞等選考委員会により川口賞受賞者を決定した（9/2015）

5.財団等推薦者選考委員会で、東レ科学振興会への推薦者を決定した（9/2015）

6.平成 28 年度学会賞等選考委員会委員長を互選で選出した(2/2016)

7. 財団等の通知内容をどのように知らせるか、

学会本部役員、事務局と相談の上、手続きを決めた(2/2016)

8. 薦者選考委員会で、山田科学振興財団への推薦者を決定した(2/2016)

国際動物会議（佐藤理事に替わり、沼田副会長が報告をおこなった）

1 OIST として支援をする招聘者にメールを送信し、旅費等の確認を行った。

(19) IT 委員会（蟻川）

1.2016 年度の沖縄合同大会に向け、準備を進めた。2015 年 11 月 13 日には第 2 回 IT 委員 web 会議を開催した。

2.参加登録システム、及び演題登録システムの構築について、ほぼ毎日、委員等と連携を取り、討議を行い、業務を進めた。

ZDW 委員会（浅見）

1.12月16日 嶋田、柴、浅見、東城、吉田薫、田中幹子、阿形、兵藤、片倉出席のもと、学会事務局で会議を開催した。旅費は国際情報発信強化（B）より支出した。

議題：ZDWにおける不具合の修正

東工大田中先生が中心になられ、ZDWの不具合を全員で確認、気が付いたことを田中先生に報告、おまとめいただいた内容をダイナックスへ知らせ、改善を行うこととなった。

2.3月14日 嶋田、阿形、田中、吉田、浅見 ダイナックス佐藤の出席で会議を開催した。

旅費は、国際情報発信強化（B）より支出

12月に示された問題点を討議

表紙が見えないなどの問題は、ダイナックス側の問題ではなく、学会が提供したxmlの問題であることがわかった。

当初は、ダイナックスが自動で修正を行えるところを修正し、以下の点に関して、検討をする。しかし主に事務局の業務となる。

- EMAIL アドレスの@がない
- 特殊文字問題
- 画像のファイル名とXMLに書かれた名称が異なるなど

しかし、Zoological Letters のサイトからもZDWにリンクができ、表紙の本棚は壮観であるという意見がでて、科研費を利用したZS広報活動としては形になりつつある。

(2) 審議事項

第一号議案について（窪川理事からの提案）

現在の委員会メンバーは、昨年9月には、交代する予定であった。しかしながら

現況では、それがうまく進んでおらず、夏には、理事の交代となる。そのため、委員会メンバーは現状のままとしておき、理事の交代に合わせてメンバーを交代する。阿形前会長の提案で、「委員が引き継ぎを行うため任期を延長した」が、以降は、担当理事が、退任後もしばらくは、委員会にオブザーバーとして残り、次期委員長や委員に引き継ぎを行うようにするのは、いかがでしょうか。

議長（武田）が、各委員会の委員の状況を聞いた結果、教育委員会を除いては、継続を承諾されていること、教育委員会委員はすでに各支部から推薦を受けていることが分かり、今回は、継続をお願いすることになった。

上記の内容で相違ないことを証するため、ここに記名押印をする。

平成28年3月18日

議長 武田 洋幸

議事録署名人 長濱 嘉孝